助成・寄付寄贈報告

◆ 公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団様より　社会福祉助成金（自動車購入費）
◆ みつばち利用者の保護者様より　みかん２箱
◆ 匿名様より　学習参考書　各種

厚く御礼を申し上げます

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」
今年度から「子どものそだち研修会」「東部アセスメント研究会」の２つの研修会が「Be サポ事例研究会」として統合されました。参加登録手続きの窓口がひとつになります。研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行います。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第３水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津
参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／１回
参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
今後の予定：　1/15、2/19、3/18
※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
静岡県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業
沼津「なごみ」　伊豆市「とっこ」
伊豆市・伊豆の国市・清水町 母子保健事業
（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
函南町・清水町・伊豆市教育委員会
（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
伊東市・富士市 市民メンタルヘルス相談
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
（児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
保育所等訪問支援）

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援

Be サポート　会員募集

NPO 法人とは利益を目的とせず、社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 49 名、賛助会員４名（2019.12 時点）で活動しております。
私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員登録を希望される方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人　臨床心理オフィス　Be サポート

クローバー通信

2019 年 1 月 15 日発行　Vol.22

NPO 法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax　055-925-1701
Mail　be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP　http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

新 年 の ご 挨 拶

Be サポート理事長　皆川行寛

新年あけましておめでとうございます。昨年も、当法人の取り組む様々な事業に、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。
昨年は、環境整備に取り組み、カウンセリングルームの模様替えを行いました。利用者様からは、落ち着いた雰囲気でよりリラックスできると好評をいただいております。また職員の福利厚生の整備も徐々に行っています。職員が安心して働ける職場にすることで、皆様に提供するサービスの質の向上に還元できればと考えております。
喜ばしいことに、法人は年々地域からの要請が高まり業務が拡大しております。しかし、現在の職員数では、地域の需要に応えるには十分ではありません。徐々に職員を増員しつつ、現職員には更なるスキルアップも期待しています。
今年の大きなビジョンは、伊豆市での事業をさらに展開することです。現在、伊豆市において母子保健事業の乳幼児の段階から、不登校引きこもりの居場所事業でかかわる思春期・青年期の段階まで支援に関わっています。伊豆市が来年度、児童発達支援センターを設立するにあたり、実務者会議にも参加しております。それに伴い、継続した療育サービスを提供したいという思いが高まり、伊豆市に「放課後デイサービス(名称未定)」を立ち上げる計画を進めております。新しい施設の立ち上げは、法人としても体力のいる業務です。全職員で協力していくことはもちろん、ぜひ法人会員の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。
ラグビーワールドカップ 2019 が日本で開催され、静岡県のエコパスタジアムも会場となりました。私も４回会場に足を運び、その熱気を体感することができました。そしてラグビー日本代表チームの『ONE TEAM』が流行語大賞を受賞。言葉でいうほど簡単なことではないと思います。日々のコミュニケーションや努力の積み重ねがあってこその『ONE TEAM』だと思います。当法人には、力のある職員の確保や、組織整備などまだまだ課題はありますが、安定した事業運営を目指し、より地域の皆様から信頼される法人になるべく、本来の意味の『ONE TEAM』を目指したいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
最後に皆様のご健勝を祈願して新年のご挨拶にかえさせていただきます。　　令和２年　　元旦

「みつばち」に新しい車の購入を助成していただきました♪

障害児･者総合サポートセンター「みつばち」では、子どもの送迎や活動の行き帰りのために現在４台の車を使っています。そのうち３台はスタッフ所有の「お下がり」の車で、走行距離 10 万kmを優に超えた軽自動車です。走行にも心配がありますし、なによりみつばちの利用者が増え送迎が多方面に広がったことで、法人所有の車が欲しいと願っていました。
このたび、「公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団」様より助成を頂くことができ、中古車ではありますが若草色のセレナを購入できました。全国 98 団体の申し込みに対しわずか 10 団体という厳しい選考だったようですが、当法人を選んでいただいたこと、スタッフ一同心より感謝しております。これからも子どもたちの安全な送迎を心掛け、大切に使わせていただきたいと思っています。

活　動　報　告

障害児・者総合サポートセンター「みつばち」

『あんず』のクリスマス会は、大きい子クラスと小さい子クラスのクリスマス会をそれぞれ開きました。12 月に入り、天使・靴下・サンタクロースと制作をして、アドベントカレンダーをめくってクリスマスを待っていました。

小さい子の会は、それぞれの曜日で三日間行いました。音楽やパネルシアター中心にクリスマスの雰囲気でワイワイと過ごしました。お話を聞くのがとっても上手になり、興味いっぱいのお顔でクリスマスのお話を見て聞いていました。

大きい子の会は、市民体育館で行いました。ふくろうのよみもの屋さんのお話を年長さんたちはとても集中して聞いていました。大画面を使った朗読や空中パネルのトナカイさんなど、素敵なお話がたくさん聞けました。サンタさんの登場にジャンプで大喜び。自分たちで当たり目を書いた大きなすごろく、クリスマスバスケット、ダンスとみんなで遊んで楽しい時間を過ごすことができました。

『かりん』のクリスマス会は、これまでで最多の 23 名が参加する賑やかなものとなりました。場所は沼津市民文化センターの会議室をお借りしました。

今年の目玉は皆で踊るパプリカと 6 年生とスタッフによるマジックショーです。パプリカは約 1 か月前から練習を始め、本番でも元気一杯踊ることができました。マジックショーも、6 年生は緊張した面持ちではありましたが、無事に練習の成果を発揮することができました。かりんには、体を動かすことや細かい作業が苦手な子もいますが、今回のような体験を通して、少しずつできることが増えるお手伝いができればと思います。

その後は、数集まりゲームや〇×クイズなどのレクリエーションやおかしパーティーで楽しく皆で盛り上がることができました。最後には、皆川サンタからプレゼントももらいました。昨年に引き続き保護者の方の参観もありました。家庭外での子どもたちの様子を知る、よい機会を提供できていれば幸いです。

東日本大震災被災者支援事業 OHANA「クリスマス会」

震災の翌年から行ってきた OHANA のクリスマス会も、今年で 8 回目になります。当初小学生だった子どもたちももう中学 3 年生になり、照れてゲームやクイズに参加したがらないようになってしまったこともあり、今年は何か新しい趣向を、と考えました。そこで、御殿場在住のパフォーマー「なんでやねん！大輔」さんをお招きし、バルーンとマジックのパフォーマンスを披露していただきました。大阪弁の賑やかなアクションに、子どもも大人も笑わせていただきました。

また、静岡県公認心理士協会の「福島県外避難者相談センター・ここさこ」との共同開催とし、福島県職員の方や司法書士の方に相談できる「相談コーナー」を設置しました。故郷には帰らず沼津に定住することに決めた参加者が、住まいのことなどを相談されていました。

OHANA の活動のご案内は毎回郵送でお送りしていますが、「故郷に戻ることになりました」「他県に移住します」などのご連絡を頂いたり、あて先不明で戻ってくるなど、当初 60 以上の世帯に郵送していたのが、今年は 35 世帯に減りました。参加者も年々減ってはいます。ですが、今年も変わらず参加して下さる方がいるのは大変ありがたいことです。皆さんの生活に安定が感じられるようになったことが、スタッフ一同最もうれしく思っております。

活　動　報　告

伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」

居場所「とっこ」は、男性女性、年齢が異なる利用者さんのペースや体調を優先して、希望を叶えるお手伝いをしています。DVD を一緒に観たり、利用者さんから美しいくす玉の作りかたを教わったり。プリンやクレープを作った時はアイデアや技に驚きました。野外活動としては、ちょうど見頃だった修善寺もみじ林へ散策に出かけました。

また学生さんの希望で、進路に関する相談に乗り作文の書きかたを伝えることを行ってきました。その一人が書いてくれた「とっこ」の紹介文を以下に掲載します。

「私は 8 月中旬あたりから、とっこに通っています。その内容は、ミサンガなどの小物を作り、バドミントンなどの軽い運動、オセロなどゲームをしてきました。私はバドミントンが好きなので楽しかったです。他にもボードゲームの〈スコットランドヤード東京〉も面白かったです。4 人からできるゲームで 1 人を犯人役にして残った人で犯人を捕まえます。予想より難しかったです。とっこは来てみると思ったよりも面白いところなので、来てみてください。」

伊豆市生きいきプラザ入口に、その日の活動場所を貼っています。今後も、ご家庭や関係機関と連携を密に取りながら運営していきます。

会員さんから おとどけコラム

この度、私の所属している読み聞かせグループ『火ようおはなし会』が 22 年間の活動を評価して頂き、静岡県知事表彰と日本善行会より善行表彰の、2 つの表彰を頂きました。長く活動をしてこられたのは、仲間と、周りのサポート、そして図書館に聞きに来てくれる親子さんのおかげ。本当に感謝の思いでいっぱいです！メンバーは、本が大好き♪楽しい事が大好き♫子どもが大好きこの 3 つが揃っています。

無理はし過ぎず、でもちょっぴり顔晴りながら、これからまた新たな気持ちでおはなし会を続けていきたいと思います。そして、みつばちにも外部依頼のおはなし会をするグループ『福朗のよみもの屋』で、楽しくおはなし会をさせて頂きました。これからもどうぞよろしくお願いします。

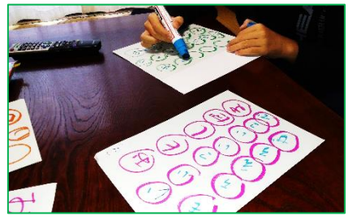
(*˘‿˘人)感謝☆☆　みつばちスタッフ稲葉さん

県ひきこもり支援センター居場所設置運営事業「なごみ」

居場所の原則では何をするのも利用者さんの自由です。しかし、なかなか自分の意見を言わない人も多く、「来月の予定があると行きやすい」と言う利用者さんの声もあったため、「なごみ」では月間の予定を組んでお知らせすることにしています。利用者さんも予定を見て参加日を決めている人もいるようです。

ところで「なごみ」は週 1 回木曜日に開所していますが、「平日だったら混んでいないんじゃ!?」新しもの好き（？）のスタッフの発言により、11 月 28 日に「ららぽーと沼津」探検に行くことになりました。

当日、すでに行った事のある利用者さんもいましたが、利用者とスタッフ総勢 4 人で雨の降る中、路線バスを利用して行ってきました。



午前中は「リレー川柳」をやりました。川柳の最初の五文字にスタッフがお題を入れ、次の七文字に利用者さんがつなげ、最後の五文字に他の利用者さんが入れてまとめるゲームです。短い文字に当てはまるようみんな一生懸命考えて言葉をつなげて、うまくまとめていました。

昼食後にららぽーと沼津に出かけましたが、飲食店がある 1 階はたくさんの人が並んでいました。クリスマス前だったので広場にテレビアニメのキャラクターがクリスマスツリーに飾られた大きなツリーが展示され、子ども連れの家族が写真を撮っていました。建物内をいろいろ見ながら探検しました。それぞれが興味のある店あったようですが、単独行動はなく、みんなで一緒に行動していました。

表彰を受ける稲葉さん